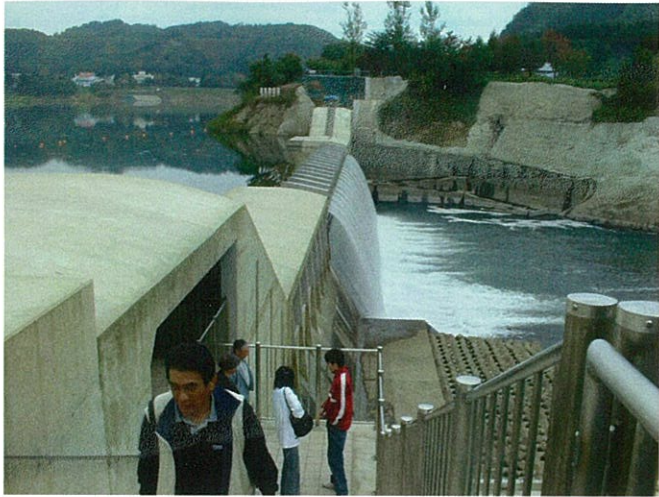


貯砂ダム



貯砂ダム右岸側より



貯砂ダム通廊



夏の貯砂ダム



国土交通省東北地方整備局
 北上川ダム統合管理事務所
 〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字四十四田1
 TEL 019-643-7831(代)
 ホームページアドレス<http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

湯田ダム管理支所
 〒024-0341 岩手県和賀郡湯田町杉名畑44地割
 162番15
 TEL 0197-74-2011(代)

【貯砂ダムの概要】

昭和39年に竣工した湯田ダムは、ダムを核とした地域活性化を図るため、平成9年7月に「地域に開かれたダム」の指定を受け、地域と一体となった整備計画の検討を進め、平成11年11月に「地域に開かれたダム整備計画」が認定され、貯水池周辺の整備が進められています。

この整備計画では、豊かな自然・温泉・湯田ダム(錦秋湖)等が一体となって観光資源の魅力を高めることにより、「湯田温泉峡県立自然公園」でもある地域の活性化につなげることを基本方針としています。

整備計画の各整備ゾーンのうち、湯田町の中心部である川尻地区においては貯砂ダムの建設により現れる約60haの湖面を活用し、周辺施設との連携により地域活性化の役割を担うこととなります。

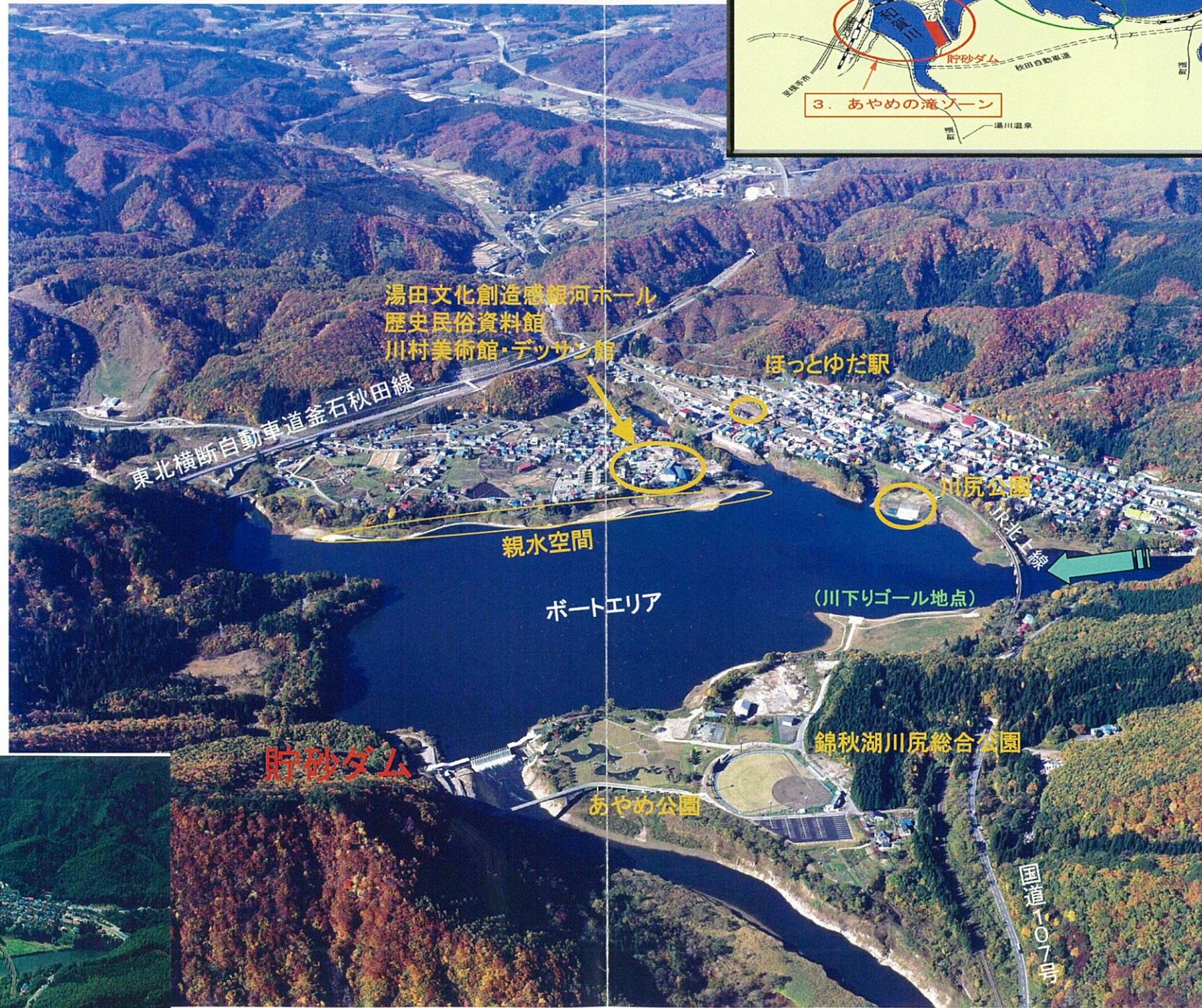
貯砂ダムは、湯田ダムの堆砂対策(貯水池保全事業)として平成9年度に事業に着手、ダムの機能を確保しながら、工事を進め、平成14年10月に総事業費約18億円をもって完成しました。

貯砂ダムの構造は、内部に通廊を設け、通り抜けできる構造としており、夏から秋にかけては、水のカーテン越しに水面を見ることができます。

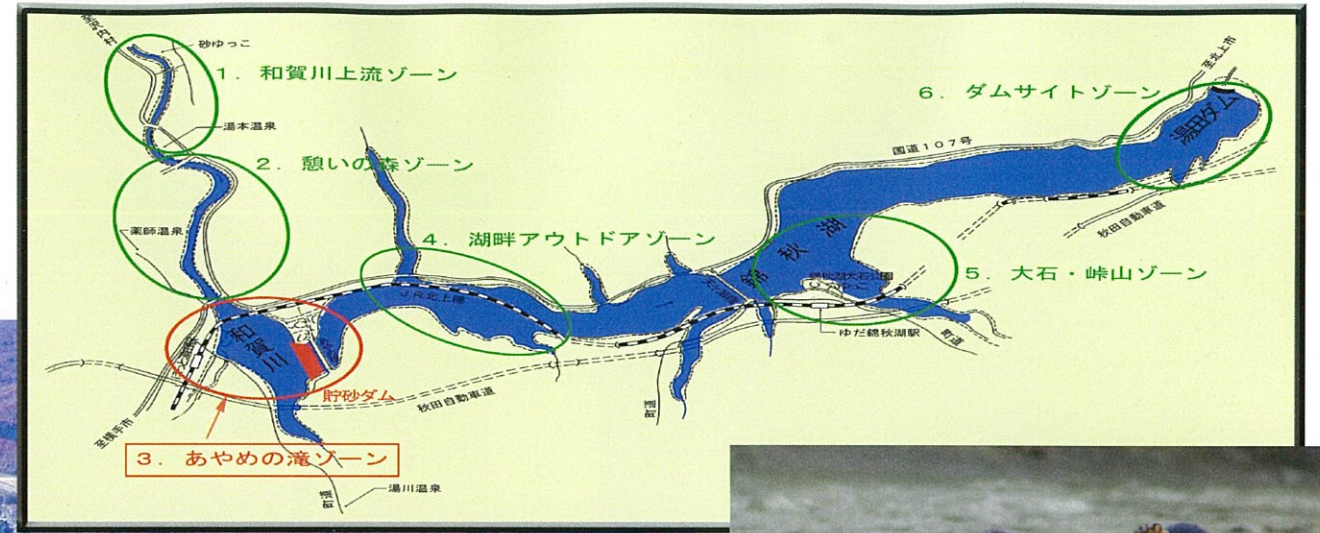
湯田ダム(アーチ重力式コンクリートダム 高さ89.5m)



貯砂ダム建設前の川尻地区



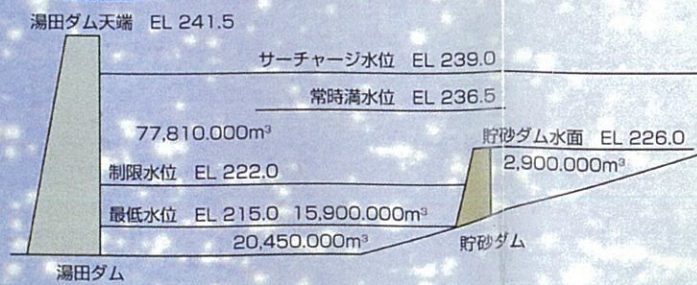
(地域に開かれたダム整備計画ゾーニング)



貯砂ダム諸元表

位置	湯田ダム貯水池内(川尻地区) 湯田ダムより約10km上流
流域面積	418.0km ²
目的	貯砂
湛水面積	60ha
貯水量	2,900,000m ³
放流ゲート	2.0m×2.0m×2門(メタルタッチ)
型式	重力式コンクリートダム
地質	火山礫凝灰石
堤頂標高	EL 226.0m
堤高	17.50m(最深下床部)
堤頂幅	5.95m
堤頂長	123.00m(うち常時越流部50.0m)
下流面勾配	1:0.70
上流面勾配	直、フレット 1:0.75~1.0
堤体積	15,500m ³
スポイラーの形状	鋼製スポイラー 16基 (L3,000×W700×H900-950)

湯田ダムとの関係



越流部標準断面図

